

保存活用計画策定について

計画策定の経緯

史跡白老仙台藩陣屋跡は、幕末蝦夷地の出来事を現在に伝える歴史的価値が高い遺跡で、西欧列強の進出に備えた東北諸藩の陣屋跡の中でも良好な保存状態にあります。造営地選出の背景となった地理的な環境も含め、当時の雰囲気をよく残しています。

一方、第1次環境整備事業から30年以上を経過し、施設の老朽化や新たに確認された本質的価値に基づく解説内容の更新、来訪者の安全性確保などの課題も明らかになってきました。加えて、民族共生象徴空間ウポポイの関連区域としての機能や、白老町の歴史文化を学び、交流を促す拠点としての機能も期待されています。

こうした状況を受け、白老町では白老仙台藩陣屋跡保存活用計画策定委員会を設置し、平成30(2018)年度から令和2(2020)年度において、本計画を策定しました。

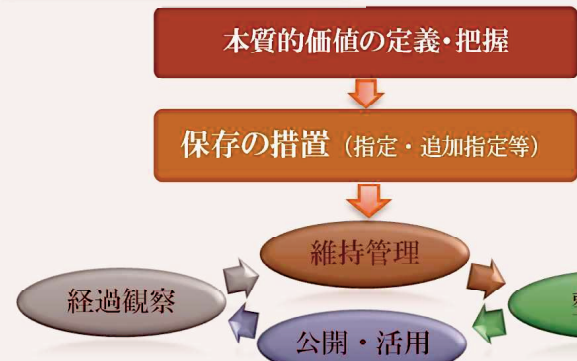
計画策定の目的

本計画は、史跡の管理団体である白老町が、本史跡の本質的価値を確実に次世代へ継承するとともに、抽出した諸要素に基づき、多様な来訪者に本質的価値を分かりやすく伝えることを目的としています。

計画の期間

計画期間は、令和3(2021)年度から同12(2030)年度までの10年間です。策定から5年程度経過した時点、もしくは定期的な自己点検の結果や周辺環境の変化などが見られる場合に、白老町教育委員会が主体となって見直しを検討します。

計画の循環サイクル



『第6次白老町総合計画』
『白老町教育推進計画』
『白老町都市計画
マスタープラン』
など

時間・進化

第2段階

第3段階

白老元陣屋 年表

安政 2(1855)年	三好監物、蝦夷地調査ののち、白老のウトカンベツが元陣屋の造営地に適していると進言。
安政 3(1856)年	白老元陣屋の造営開始。9月、上棟式挙行。
万延元(1860)年	藩領記念として塩釜・愛宕両神社に氏家秀之進以下11名が石灯籠を寄進。
慶応 4(1868)年	戊辰戦争勃発。仙台藩士、白老元陣屋から撤退。
明治 2(1869)年	一関藩が白老郡の支配を開始し、白老元陣屋を解体。
明治 39(1906)年	周辺の住民、藩士の墓石を発見。「青葉会」を結成し、藩士の墓地や陣屋の保存活動を開始。
昭和 5(1930)年	北海道庁告示により、史跡に仮指定。
昭和 41(1966)年	文化財保護委員会告示第7号により史跡指定。 「青葉会」が「白老仙台陣屋史跡保存会」に改称。
昭和 43(1968)年	「白老史跡愛護少年団」を結成。
昭和 44(1969)年	第1次環境整備事業開始。史跡説明板を設置。
昭和 45(1970)年	文化庁により「文化財愛護モデル地区」に指定。土塁復元。
昭和 46(1971)年	土塁復元。
昭和 47(1972)年	土塁復元。堀割復元。
昭和 49(1974)年	堀割復元。アカエゾマツ植栽。
昭和 51(1976)年	史跡の第1次追加指定。アカエゾマツ植栽。
昭和 52(1977)年	フシコウトカンベツ復元。土塁修復。エゾヤマザクラ植栽。
昭和 53(1978)年	フシコウトカンベツ復元。エゾヤマザクラ植栽。
昭和 54(1979)年	フシコウトカンベツ復元。フシコウトカンベツに連柴柵による護岸。
昭和 55(1980)年	フシコウトカンベツ復元。フシコウトカンベツに連柴柵による護岸。二番・五番長屋跡を平面展示。
昭和 56(1981)年	土塁修復。フシコウトカンベツ埋塞掘削。フシコウトカンベツ復元。
昭和 57(1982)年	フシコウトカンベツ復元。三番長屋跡を平面展示。
昭和 59(1984)年	仙台藩白老元陣屋資料館開館。御本陣跡、御勘定所跡、御兵具蔵跡を平面展示。
昭和 60(1985)年	兵糧蔵跡、御馬屋跡、四番長屋跡、1号井戸跡を平面展示。太鼓橋を立体展示。
昭和 61(1986)年	稽古屋跡を平面展示。
昭和 62(1987)年	公衆トイレ設置。周遊路設置。
昭和 63(1988)年	土塁復旧。周遊路設置。人道橋設置。
平成元(1989)年	ガイダンス広場整備。周遊路設置。
平成 2(1990)年	人道橋設置。水飲み場、説明版、方向サイン設置。
平成 3(1991)年	塩釜神社、愛宕神社に解説板設置。広場に案内板、水飲み場設置。方向サイン、ベンチ設置。
平成 4(1992)年	野草園整備。
平成 5(1993)年	町道陣屋線により分断されていた堀割の接続及び土塁復元。 東屋設置。フシコウトカンベツ河畔にさく井及び送水ポンプ設置。
平成 6(1994)年	大手御門及び表御門を立体展示。
平成 7(1995)年	藩士の墓地整備。第2次追加指定及び一部解除。
平成 26(2014)年	民族共生象徴空間の開業が決定し、関連施設として位置づけられる。
平成 28(2016)年	太鼓橋の立体展示を再整備。人道橋の架け替え。
令和 3(2021)年	白老町が史跡の管理団体に指定される。「史跡白老仙台藩陣屋跡保存活用計画」策定。

